

2016年6月10日

— IMS SUMMER 2016 ～三菱地所アルティウム連動企画～

大人のファンも多い絵本の世界。安野光雅氏の企画展をイムズで初開催！

「安野光雅のふしぎな広場」

会期：2016年7月8日(金)～8月28日(日) ※7/8(金)に、初日公開取材会を予定

イムズでは、夏休み時期の幅広い来館ターゲット層に向けた装飾・文化情報発信企画として、7月8日(金)から8月28日(日)まで、IMS SUMMER 2016「安野光雅のふしぎな広場」を開催します。

画家、絵本作家、装丁家として幅広い活躍を続け、子供のみならず大人の女性ファンも多い安野光雅氏の絵本の世界が、8F三菱地所アルティウムとの連動でB2Fイムズプラザに登場。精密に描かれた美しい絵に、遊び心があわさった、豊かな空想力から生み出される不思議な世界を、子供から大人まで幅広く楽しんでいただける立体的かつ参加型の企画展です。期間中、ワークショップやトークイベントの開催なども予定しています。

IMS SUMMER 2016 安野光雅のふしぎな広場

【会期】2016年7月8日(金)～8月28日(日)
 10:00～20:00 ※期間中休館日なし

【会場】B2Fイムズプラザ

※会期中休館日なし

※8F三菱地所アルティウムでは、7/9(土)から8/28(日)まで、「安野光雅のふしぎな絵本展」を同時開催。
 他にも、館内で関連企画を予定。

PROFILE: 安野光雅(あんのみつまさ)

1926年、島根県津和野町に生まれる。教師を務めながらデザインや装丁の仕事を手掛け、1968年に「ふしぎなえ」で絵本作家としてデビュー。美術のみならず科学・数学・文学などにも造詣が深く、エッセイ、画文集、装丁など幅広い分野で活躍する。知的で独創性溢れる作品は幅広い層を魅了し、絵本のノーベル賞ともいわれる国際アンデルセン賞をはじめ、2008年に菊池寛賞、2012年に文化功労者顕彰、2014年に中国文化賞など数々の賞を受賞。2001年には故郷の津和野町に安野光雅美術館が開館した。



～安野氏の不思議な絵の世界を、大型パネルや立体造作物で楽しめます～

絵本作品『もりのえほん』、『かぞえてみよう』、『さかさま』を中心に、だまし絵や鏡を使った仕掛け、作品から飛び出した動物たちが登場するふしぎでダイナミックな空間に魅了されてしまいます。さらに、300冊を超える著作の中から選りすぐりの約100冊が並び、実際に「ふしぎ」をテーマにした作品に触れることもでき、家族で楽しめる仕掛けが盛りだくさんです！



※ 館内での取材・撮影は、取材申込書の提出をお願いしております。お手数ですが、イムズ広報担当までご連絡をよろしくお願い致します